

社会・労働関係文献月録

・分類表は2005年12月号に掲載されています。
 ・収録誌の一覧は1991年6月号に掲載されています。
 ・掲載文献は研究所で閲覧・複写できます。所内での複写は有料です。なお、文書等（葉書・FAX・e-mail 可）で申込みの場合は、複写料および送料実費で申し受けます。定期購読者に限り、複写料は割引させていただきます。

法政大学大原社会問題研究所編 ☎ 042-783-2305
 東京都町田市相原町4342 (〒194-0298) F. 042-783-2311

2010.12.1～2010.12.31受け入れ分

(文献資料名) (著者名) (収録誌名) (巻-号) (月 号)
 *印単行書の場合→ (発行所) (判・頁) (刊行年月)

I 理論・一般

0. 総記

今なぜ、ベーシック・インカムか	堅田香緒里	季刊自治体労働運動研究	37	10.8
特集 ベーシックインカムの可能性		プランB	28	10.8
ベーシック・インカムの緒論概観 (高橋 聡) 生存権所得の財源 (村岡 到) 閉塞時代を打破するベーシック・インカム (曾我逸郎)				
*イギリス成年後見制度にみる自律支援の法理	菅富美枝	ミネルヴァ書房	A5.289	10.10
*希望のつくり方	玄田有史	岩波書店	B40.235	10.10
*経済情勢報告 2010～2011年度	連合総合生活開発研究所編	第一書林	B5.184	10.10
*炭坑節の記憶を見る	小林直毅編	法政大学社会学部社会調査実習室	A4.52	10.10
*18歳から考える日本の政治	五十嵐仁	法律文化社	B5.109	10.11
*礎のロシア	亀山郁夫	岩波書店	A6.427	10.11
*マルクスとともに現代を考える	不破哲三	新日本出版社	A5.301	10.11
*資本と貧困	頭川 博	八朔社	A5.293	10.3
*再論資本主義の発見	重田澄男	桜井書店	A5.278	10.7
*ベーシックインカムで大転換	村岡 到	ロゴス	B6.236	10.8
*ミドルクラスを問いなおす	渋谷 望	日本放送出版協会	B40.252	10.8

1. ジェンダー・フェミニズム・女性論

「平成22年度男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」について (パネルディスカッション)				
(基調講演: 宮本太郎 パネリスト: 河野真矢子 成澤廣修 山下由美) 共同参画				26 10.8
特集 ジェンダー平等は日本でなぜ進まないのか		季刊ピープルズ・プラン	51	10.Summer
ジェンダー平等は日本でなぜ進まないのか (青山 薫) 「リブ」は何を変えたのか (インタビュー) (田中美津 聞き手: 千田有紀) ジェンダー視点からオルタナティブ社会を考える (鈴木ふみ) 日本の「男女共同参画政策」では、なぜ性差別解消はすすまないのか (船橋邦子)				
特集 進む国際的なジェンダー平等		月刊ヒューマンライツ	269	10.8
アカデミック・ハラスメント防止対策における相談員の役割 (御興久美子) 「北京+15」ジェンダー平等の国際的潮流 (林 陽子)				
雇用における男女平等の実効的な推進	大西洋世	法学志林 (法政大)	108-1	108
*女性専用車両の社会学	堀井光俊	秀明出版会	B6.191	09.11
*わたしたちはあゆみつづける 2010		日本母親大会実行委員会	A5.199	10
*政治思想のなかの女	スーザン・モラー・オーキン著 田林葉, 重森臣広訳	晃洋書房	A5.298	10.5
*ジェンダーと社会	木本喜美子, 貴堂嘉之編 赤石憲昭他	旬報社	A5.392	10.6

*社会教育の権利と平等	中藤洋子	トメス出版	A5.224	10.8
*愛の労働あるいは依存とケアの正義論 エヴァ・フェダー・キテイ著 岡野八代, 牟田和恵監訳		白澤社(発売:現代書館)	B6.443	10.9
*フェミニズムと経済学 第2版	青柳和身	御茶の水書房	A5.557	10.9
2. 労働論				
カール・マルクス『資本論』『管理の二重性論』再論(1)~(3), (5)	藤原直樹	大分大学経済論集	60-4/5~60-3,62-2	09.1~09.9,10.7
サービス労働と労働力商品の擬制性	飯盛信男	佐賀大学経済論集	43-2	10.7
3. 労使(資)関係論				
特集 公務における自律的労使関係		季刊労働法	230	10.秋季
ドイツに学ぶべきこと(大塚実)「アメリカにおける公務労使関係」再訪(高柳英喜)公務労使関係システムの構築に関する議論の現在と問題点(毛塚勝利)公務員制度改革と公務関係の法的性格(対談)(島田陽一下井康史)				
公務労使関係制度改革の意義と課題	根本 到	国公労調査時報	573	10.9
6. 社会政策論				
新福祉国家への道をどう開くか	尾藤廣喜	賃金と社会保障	1521	10.9.上月
7. 社会保障論				
*介護サービス市場の管理と調整	佐藤卓利	ミネルヴァ書房	A5.269	08.12
*ベーシックインカムがわかる本Q&A入門編	ベーシックインカム・実現を探る会		B5.26	09.12
*社会保障と税制	日本租税理論学会編	法律文化社	A5.158	10.10
*日本社会保障資料 4(CD)	国立社会保障・人口問題研究所		14×14cm.1枚(CD架に配架)	10.8
8. 社会福祉論				
幼老統合ケアの理論と実践	多湖光宗	生活科学研究誌(大阪市立大)	8	10.3
地域福祉推進と天理教社会福祉の機能	渡辺一城	天理大学人権問題研究室紀要	13	10.3
介護者支援の論理とダイナミズム	斎藤真緒	立命館産業社	46-1	10.6
*すぐそこにある貧困	小久保哲郎, 安永一郎編	法律文化社	A5.263	10.10
*大阪の貧困	反貧困ネットワーク大阪実行委員会		A5.100	10.6
9. 産業・労働社会学				
労働市場のデータを用いたValue of Statistical Lifeの推計	宮里尚三	日本経済研究	63	10.7
10. 労働科学, 人間工学				
機械安全と安全管理における基本理念と災害防止原則の比較	梅崎重夫, 濱島京子, 清水尚憲	労働科学	86-4	10.8
特集 職場のリアルに迫る		労働の科学	65-8	10.8
リアル(REAL)な現場のニーズに対応した評価・診断のすすめ(水野有希)労働安全衛生とKAIZEN(岸田孝弥)REAL(労研式エルゴノミック・アセスメント&ラーニング)の軌跡と今後の展開(北島洋樹)それぞれの職場に合った改善ツール・パッケージを考える(松田文子)				
11. 職業教育・訓練論				
現代英国の職業教育ルートをとどる若者の雇用への移行	佐野正彦	産業教育学研究	40-2	10.7
*やりたい仕事がある! 新版	池上 彰編著	小学館	B6.670	10.10
*大学におけるキャリア教育の実践	小樽商科大学地域研究会編	ナカニシヤ出版	A5.185	10.3
*人間キャリア創造論	野本茂, 李艶編 富章, 塚本五二郎他	サンライズ出版	A5.221	10.8
*「働きたくない」というあなたへ	山田ブーニー	河出書房新社	B6.218	10.8
II 労働問題				
20. 総記				
男女協働参画経営の実現に向けて	数家鉄治	大阪商業大学論集	158	10.7
*就職・失業・男女差別	岸 智子	日本経済評論社	A5.70	10.10

21. 雇用・労働市場					
激増する官製ワーキングプア	報告者：北川啓子	現場報告：佐能八重美	職場の人権	65	10.7
労働市場改革と均等待遇		永田 瞬	福岡県立大学人間社会学部紀要	19-1	10.7
* リストラなう！		綿貫智人	新潮社	B6.383	10.7
* 失業構造の理論的・実証的研究			労働政策研究・研修機構	A4.161	10.9
22. 労働条件					
新規開業者におけるワークライフバランスの決定要因	深沼光, 松原直樹		日本政策金融公庫論集	8	10.8
特集 女性の継続就業とワーク・ライフ・バランス	改正育児・介護休業法と今後の課題		ビジネス・レーパー・トレンド	426	10.9
女性の活躍推進に向けた企業の取り組み(報告)(米奥美由紀 小谷美樹 桑原靖子)			今後の仕事と家庭の両立		
支援(報告)(定塚由美子) 企業と従業員双方から見たワーク・ライフ・バランス(中村良二)			ワーク・ライフ・		
バランス比較法研究(池添弘邦) 出産・育児期の継続就業と育児休業(報告)(池田心豪)					
* 介護労働者の労働状況に関する調査報告書	医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構			A4.156	10.3
23. 賃金問題					
特集 同一価値労働同一賃金の実現をめざして			女性と労働21	73	10.6
介護職の賃金改善をめざして自治労と東京ケアユニオンのとりくみ(塩原節子)			「変化する賃金・雇用制度の下		
における男女間賃金格差に関する研究会報告」について(中野麻美)			同一価値労働同一賃金実施のための職務		
分析・職務評価方法と今後の課題(報告)(山田和代)					
* 男女間賃金格差の経済分析			労働政策研究・研修機構	A4.207	10.8
* 最低賃金に関する調査			労働政策研究・研修機構	A4.158	10.9
24. 労働時間					
特集 働き方をめぐる新たな課題	労働時間とメンタルヘルスを焦点に		ビジネス・レーパー・トレンド	425	10.8
仕事特性と個人特性から見たホワイトカラーの労働時間(小倉一哉)			増加傾向にある若年層を中心とした「現		
代型うつ」について(インタビュー)(長野展久)					
26. パート・派遣労働					
特集 人材派遣は地域振興をもたらすか			地域開発	552	10.9
地域振興アドバイザー派遣事業の特徴, 効果, 課題(北川泰三)			地域への人材還元論(大西 隆)		
市町村現場への人材派遣: 高知県の地域支援企画員「地域の元気応援団」(岡村幸政)					
専門26業務派遣適正化プランと改正派遣法の動向	北岡大介		労働法学研究会報	2481	10.7.15
* 「電機産業の製造現場におけるアウトソーシングの実態調査」報告			電機連合総合研究企画室	A4.266	10.10
28. 女性労働					
母子家庭の就労の現状とその困難性	報告者：吉中季子, 現場報告：川端久美子		職場の人権	65	10.7
労働運動をジェンダーの視点で振り返る		片岡千鶴子	労働法律旬報	1726	10.8.下旬
* ワーキングマザーバイブル ムギ畑WMB制作委員会編	勝間和代監修		講談社	B6.191	10.9
30. 若年労働					
特集 若年層の就業とキャリア形成			生活協同組合研究	415	10.8
正社員転換・登用制度の実態と課題(金井 郁) 若者の「移行支援」「自立支援」機関としてのワーカーズコープの実践(古村伸宏)			デンマークの積極的労働市場政策の動向からみる日本への示唆(熊倉瑞恵) 若者の職業		
キャリア(小杉礼子)					
競争的環境と雇用不安定化のもとでのポストク問題	浜田盛久		前衛	862	10.10
特集 若者の「雇用問題」: 20年を振り返る			日本労働研究雑誌	602	10.9
「若者自立・挑戦プラン」以降の若者支援策の動向と課題(児美川孝一郎) ノンエリート大学生に伝えるべきこと(居神 浩) 若者と雇用の保護(竹内(奥野)寿)					
* 労働	小谷敏, 土井隆義, 芳賀学, 浅野智彦編		日本図書センター	B6.366	10.10
32. 障害者労働					
* 我が国の盲導犬制度と視覚障害者就労の促進に関するプロジェクト	研究報告書				
			法政大学大原社会問題研究所	A4.53	10.10

33. 外国人労働				
特集	Current situation of Japan's foreign labor policy	Japan labor review	7-3	10.Summer
	The economic crisis and foreign workers in Japan (Kiyoto Tanno) Labor law and policy issues relating to foreign worker's in Japan (Chizuko Hayakawa) Concerning revisions in the foreign trainee and technical intern system (Hiroaki Watanabe) The current issues on foreign workers in Japan (Masahiko Yamada) Impacts of international migration on the labor market in Japan (Jiro Nakamura) 10% of companies recruited foreign students in the past three years (Masato Gunji)			
* 介護現場の外国人労働者	塚田典子編著	明石書店	A5.239	10.10
* 日系人労働者は非正規就労からいかにして脱出できるのか	稲葉奈々子, 樋口直人	全国勤労者福祉・共済振興協会	B5.109	10.10
* 反貧困でつながろう	樽松佐一	かもがわ出版	A5.93	10.7
35. 労災, 職業病, 健康問題				
	精神疾患の労災認定と企業の安全配慮義務(6)	安西 愈	季刊ろうさい	6 10.夏
特集	健康と労働		日本労働研究雑誌	601 10.8
	健康状態と労働生産性(湯田道生) 安全(健康) 配慮義務論の今日的な課題(和田 肇) 健康上の問題を抱える労働者への配慮(長谷川珠子) 中高齢者の健康状態と労働参加(濱秋純哉, 野口晴子) 多様な健康状態の労働者と人事管理(座談会)(佐野嘉秀 司会: 大内伸哉)			
特集	なくそう過労死・過労自殺		ひろばユニオン	584 10.10
	過労死遺族は訴える 帰らぬ夫・帰らぬ息子 悲しみは深く(座談会)(川田キヨ子 矢田部和子 渡邊しのぶ) 過労死不安 こんな症状が危ない(須田民男) 過労自殺 労使がすべき対策は(河野慶三)			
特集	知っておくべき夜勤の健康影響 その最前線		労働の科学	65-9 10.9
	夜勤交代勤務と糖尿病発症リスク(森河裕子) 交代勤務における個人差への対応(高橋正也) 夜勤交代勤務者の睡眠問題とその対策(松元 俊) 交代制勤務者の悪性腫瘍リスク(久保達彦) 夜勤交代勤務が循環器疾患に及ぼす影響(諏訪園靖)			
	過労死の労災認定基準に一石を投じる判決	森 弘典	労働法律旬報	1725 10.8.上旬
36. ハラスメント				
	パワハラを巡る紛争に関する法律上の問題点	岩本充史	季刊ろうさい	6 10.夏
特集	パワハラの実質的解決に向けて		季刊労働法	230 10.秋季
	パワハラ裁判の動向と問題点(加城千波) パワハラと職場のいま(鼎談)(中野麻美 金子雅臣 龍井葉二) パワー・ハラスメント自治労10万人調査の実施にあたって(西田一美) 相談活動から見えてくる最近の“いじめ”の状況(千葉 茂) 職場におけるパワー・ハラスメントとメンタルケア(武藤清栄)			
	最新版パワハラの実状と対策	岡田康子	労働法学研究会報	2482 10.8.1

III 労働運動

41. 労働組合・運動論				
特集	労働運動 次ぎへの闘い	科学的社会主義	150	10.10
	兵庫県労働委員会で完全勝利 武庫川ユニオンダストマンサービス分会の闘い(友田洋太) 個人請負型就業者一究極の低コストワーカー(弓月祥子) 都立高校の今~TAIMS導入をめぐって(板橋高校元教員・藤田先生を応援する会) 教育労働運動の展望(田中眞吉) 窮乏化を確認した一〇年版『労働経済白書』(津野公男) 国鉄闘争をふりかえる(加藤晋介)			
	働き方の改革という運動論	新妻健治	国際経済労働研究	1003 10.9
	労働協約を結べる組合をどうつくるか	三木陵一	国公労調査時報	573 10.9
特集	個別労働紛争の実際 労働組合に求められる課題		労働調査	490 10.9
	労働局のあっせん事案からみた個別労働紛争の実態(鈴木 誠) 「連合の労働相談活動」について(大出日出生) 労働組合だからこそできる紛争の解決(小西一也) 働く女性のホットライン(伊藤みどり) 個別労働紛争の現状と課題(山本圭子)			
* 個人加盟組合の活動に関するアンケート調査結果報告		法政大学大原社会問題研究所	A4.39	10.9

43. 地域別, 産業別共闘			
* 年次報告書 2009年度	アルバイト・派遣・パート関西労働組合	A5.101	10. 5
* 建設関連40年のあゆみ (付: CD)	全国建設関連産業労働組合連合会	A4.48	10. 9
44. 単産, 単組			
完全民営化にむけて苦悩するJR貨物	伊藤憲治	自然と人間	171 10. 9
特集 「JR不採用事件二三年の闘い」		社会主義	579 10. 9
JR不採用事件の背景と二三年間の闘い (田口秀行) 二三年, 仲間に支えられた闘いと生活体制づくり (高橋敏夫) 闘い続けた二三年を振り返って (山口利通) 闘争団と連帯するJR職場の合理化との闘い (八郷清幸) JR不採用事件の23年間の闘いを振り返って (座談会) (中尾多佳史 西脇裕允 敷根春美 善明建一 山田太郎 川越達男)			
46. 賃金闘争 (含 生活改善闘争)			
特集 10春闘総括		国際経済労働研究	1002 10. 8
連合春季生活闘争の「転換」(高木郁朗)「春闘」に未来はあるか (久谷與四郎)			
* 個人加盟ユニオンの紛争解決		労働政策研究・研修機構	A4.39 10. 9
54. 労働者福祉・協同組合運動			
特集 暮らしの変化と協同組合の社会制度への関心 第18回総会記念シンポジウムを振り返る 協う120			10. 8
持続可能な地域社会と新たな協同の可能性 (講演) (植田和弘)「よりよく生きる」ために, 生協には何が求められているのか (座談会) (中川順子 北川太一 上掛利博 二場邦彦 杉本貴志)			
特集 「新しい公共」を創造する協同労働の協同組合		協同の発見	217 10. 8
協同労働とその法制化が拓く時代 (講演) (島村 博) 協同労働とその法律を, 地域と社会, 労働の再生に生かしていくために (パネルディスカッション) (パネリスト: 永戸祐三 鈴木雄一 櫻井勇 岡村信秀 法橋聡 コーディネーター: 岡安喜三郎)			

IV 経営労務

60. 総記			
* 中小企業研究センター年報 2010		中小企業研究センター	A4.101 10
* 企業内の労使関係	村杉靖男	日本生産性本部生産性労働情報センター	A5.251 10.11
* 組織デザインの原理			
エーリッヒ・フレーゼ著 清水敏允監修 井藤正信, 宮田将吾, 山縣正幸, 柴田明訳 文真堂 A5.459 10. 6			
61. 人事・労務管理			
パートタイマーの雇用管理の課題に関するノート	本田一成	国学院経済学	58-3/4 10. 5
企業と労働者をともに繁栄させる人材マネジメントへ向けて	守島基博	国民経済雑誌 (神戸大)	202-1 107
* パワハラにならない叱り方	道幸哲也	旬報社	B6.158 10.10
* 貴女を輝かせるキャリアデザイン			
広岡守穂, 木本喜美子, 西山昭彦編著 中央大学出版部 B6.221 10. 7			
* 医療人材の確保・育成の課題1		連合総合生活開発研究所	A4.55 10. 9
* 中小企業における県外労働者の採用・活用とコア人材に関する調査		労働政策研究・研修機構	A4.152 10. 9
* 適正労働・資本分配率に基づく業績連動式賞与制と総額人件費管理		窪田千貫 中央経済社	A5.289 10. 9
62. 賃金管理			
* モデル賃金・年収と昇給・賞与 2011年版		労務行政研究所	B5.291 10.11
64. 定年制, 退職金, 企業年金			
近畿地区企業年金基金の活動と今後の展望 (座談会)			
(山内豊弘 佐藤光政 和田季之 司会: 皆川尚史) 企業年金 373 10. 9			
特集 確定拠出年金の動向と課題		年金と経済	29-2 10. 7
確定拠出年金制度の投資教育に関する規定と課題 (高橋 肇) 個人型確定拠出年金 (個人型年金) の現状と課題 (遠藤孝次) 米国確定拠出型年金をめぐる近年の動向 資産形成から資産取り崩しへ (野村亜紀子) オーストラリアとニュージーランドの確定拠出年金の動向 (遠藤忠彦) 確定拠出年金の課題と今後のあり方 (上田憲一郎)			

66. 教育・訓練				
特集	いきいきする仕事 ワクワクする学びのつくりかた	企業と人材	970	10.8
	人材開発と組織開発を融合した「ワークショップ型研修」をデザインする(堀 公俊) ファシリテーター型社員を増やして、職場をチームに変える(長尾 彰)			
特集	変化する内定者教育	人材教育	260	10.8
	「一貫した採用・育成」の視点から考える内定者教育(小宮健実) 選考前教育のススメ。採用候補者を教育しながら選抜する「資産蓄積型採用活動」(鈴木美伸)			
特集	若手だけじゃない!ベテランも 管理職も 読む力を強化する	人材教育	261	10.9
	今、日本で求められる「ことばの力」(北川達夫) 齋藤 孝の“読む力”(齋藤 孝)			
	和光大学における産学連携による人材育成の成果と課題	小林猛久 和光経済	43-1	10.7
	*職場学習論	中原 淳 東京大学出版会	A5.195	10.11
67. リストラ・雇用				
	*有期契約労働者の契約・雇用管理に関するヒヤリング調査結果	労働政策研究・研修機構	A4.128	10.9
68. 安全衛生管理				
	産業安全保健のすすめ再び:温故知新	東 敏昭 労働科学	86-4	10.8
特集	ILO187号条約の批准と安全衛生活動の新しい展開	労働と医学	106	10.7
	生協しずおか労働組合における労働安全衛生委員会活動(服部正平) 小中学校の安全衛生活動入門(大里総一郎) ILO187号条約の批准と安全衛生活動の新しい展開(村上剛志) 新日本理化労働組合「職場のメンタルヘルス対策」(化学一般労働組合連合新日本理化労働組合)			
V 労働・社会政策				
70. 総 記				
	高齢者の近隣資産づくりのための地域支援に関する研究	豊田恵美, 森一彦 生活科学研究誌(大阪市立大)	8	10.3
	日韓比較研究「子育て意識と子育て支援に関する実態とニーズ調査」から少子化問題とその背景を考える	細井勇, 古橋啓介, 秦和彦他 福岡県立大学人間社会学部紀要	19-1	10.7
	関西学院大学地域・まち・環境総合政策研究センター研究報告(6)	関根孝道, 大隅要, 赤井俊子, 片寄俊秀 Journal of policy studies(関西学院大)	34	10.3
	地域ケアとまちづくりを念頭に医療と介護の連携が進む仕組みを(インタビュー)	(太田秀樹) 介護保険情報	11-5	10.8
	地域における資源循環と経済活性化の課題	重村光輝 国学院大学経済学研究	41	10.3
	地域の持続可能性, 地域自立そして自然との共生(再説)	駄田井正 産業経済研究(久留米大)	51-1	10.6
	住民の視点に立った地方分権論議を	清家 篤 週刊社会保障	2589	10.7.26
特集	子どもの貧困	人権21	207	10.8
	子どもの貧困(親の立場から)(関籐香代子) 就学前における子どもの貧困の実態(平松康子) 中学校の保健室から(山咲さくら) 高校生と貧困問題(岩佐仁志) 子どもの貧困について(小学校の現場から)(大谷浩司) 子どもの貧困シンポジウム(報告)			
74. 安全衛生政策				
	*安全衛生活動と労働組合	川上 恕 富士社会教育センター	B5.158	10.5
	*労災・過労死の裁判	佐久間大輔 日本評論社	A5.321	10.7
75. 職業教育・訓練政策				
	ドイツにおける職業教育訓練の政策転換の特質	田口和雄 高千穂論叢	45-2	10.8
76. 社会保障政策				
	かかりつけ医を中心とした認知症医療連携の実態と課題	奥田憲昭 地域と経済(大分大)	3	10.6
	「第1次提言」発表	山崎秀一 季刊自治体労働運動研究	37	10.8
特集	介護保険制度見直しの論点	介護保険情報	11-6	10.9
	地域の高齢者のニーズや課題について実態把握を急げ(インタビュー)(山田尋志) 2012年に向けた介護保険の課題(1)(池田省三)			

生活保護における高齢加算の廃止と生存権の保障	井上亜紀	佐賀大学経済論集	43-1	10.5
日本における少子高齢化と高齢者保健福祉政策の再検討	保坂恵美子	産業経済研究(久留米大)	51-1	10.6
子ども手当制度の検討	福田素生	社会保険旬報	2430	10.7.21
これからの日本医師会の医療政策(上)～(下)	原中勝征	社会保険旬報	2431,2432	10.8.1,10.8.11
高齢者医療制度改革の課題と戦略	近藤克則	社会保険旬報	2433	10.8.21
EPAと介護福祉士・看護師の受け入れ	岡伸一	週刊社会保障	2589	10.7.26
特集 社会保障読本2010年版 「医療・年金・介護等の現状と将来」		週刊社会保障	2592	10.8.16/23
公的年金制度の課題と将来(石田重森) 企業年金制度の課題と将来(若杉敬明) 2012年介護保険制度改革への視点(高橋紘士) 少子化対策の課題と展望(棕野美智子) 岐路に立つ社会保険方式(土田武史) 医療保険制度の課題と将来(江口隆裕) 診療報酬制度の課題と将来(川渕孝一) 医療提供体制の課題と将来(大道久)				
原則主義の矛盾	江口隆裕	週刊社会保障	2593	10.8.30
持続可能な年金財政	丸尾直美	週刊社会保障	2593	10.8.30
民間保険を取り巻く現状「2009-2010」	徳常泰之	週刊社会保障	2591	10.8.9
メディカル・ツーリズムはうまくいくのか?	川渕孝一	週刊社会保障	2591	10.8.9
特集 生活保護の仮の救済制度の活用		賃金と社会保障	1519/1520	10.8 合併号
全国初の生活保護に関する執行停止・仮の義務付け(大井 琢) 生活保護開始仮の義務付け決定に社会福祉士が果たした役割と今後の展望(高木博史)				
特集 通院移送費不支給通知撤回の意義		賃金と社会保障	1519/1520	10.8 合併号
通院移送費獲得までの経緯と行政に対する思い(島内信行) 大和郡山市通院移送費不支給事件について(古川雅朗) 生活保護・医療扶助における通院移送費の意義(吉永 純) 通院移送費に関する熊本市での審査請求の取り組み(阪本 深) 私達は炭鉱のカナリヤではない(山本 創)				
高齢者医療制度の費用負担と被保険者の権利(上)	伊藤周平	賃金と社会保障	1521	10.9.上旬
社会的ジレンマのもとでの参議院選挙	宮本太郎	北海道自治研究	499	10.8
特集 医師の確保と養成		民医連医療	458	10.10
民医連の医師の確保と養成にむけて(山本一視) 後期研修の充実により、後継者の育成を(松本 久) 「オール民医連」で医師後継者を生み出そう!(増田 剛)				

77. 社会福祉政策

オランダの高齢者住宅における生活支援機能の考察				
	福田真希, 森一彦, 豊田恵美	生活科学研究誌(大阪市立大)	8	10.3
生活保護受給者の自立阻害要因と自立支援策	中村晋介	福岡県立大学人間社会学部紀要	19-1	10.7
ソーシャルワークの普遍性と専門性	宍戸明美	名古屋学院大学論集社会科学篇	47-1	10.7
地域ガバナンスにおける障害者活用の可能性	石田謙一	中央大学社会科学研究所年報	14	10.7
特集 障害のある子どもたちの教育は今 本物の「インクルーシブ教育」を		クレスコ	115	10.10
「こんな俺でも見捨てない学校がある」という思いを支えつづける(土方 功) 障がい者制度改革推進会議に対する全国特別支援学校長会の対応(兵馬孝周) 障害者権利条約と子どもの学習権・発達権(荒川 智) 学ぶ喜びと、成長・発達を保障する障害児教育を(杉浦洋一)				
特集 子どもの命と育ちをまもる		月刊福祉	93-11	10.9
児童虐待防止法制定後の虐待の現状(大久保真紀) 児童虐待対応の最前線としての児童相談所の取り組み(衣斐哲臣) 子ども虐待への医療機関を核とした子どもと親へのケア(杉山登志郎) 地域連携で取り組む虐待予防(茂籠知美) 子どもの人権を守るために(才村 純)				
権利擁護としての日常生活自立支援事業の現状と課題				
	濱島淑恵, 加藤蘭子, 谷口真由美	厚生の指標	57-8	10.8
アメリカの長期ケアと高齢者包括ケア・プログラム(PACE)	新井光吉	社会科学論集(埼玉大)	130	10.6
児童福祉における自立の支援	牧園清子	松山大学論集	22-1	10.4
住民参加型在宅福祉サービス団体の歴史的意義と限界	松原日出子	松山大学論集	22-1	10.4

78. 労働法

労組法上の「労働者」についてその判断基準をめぐる問題と課題(講演)				
	(宮里邦雄)	月刊労委労協	652	10.8

高齢者法上の労使協定締結資格がないことなどを理由とする団交拒否と不当労働行為の成否	石橋 洋	中央労働時報	1121	10. 8
労働者性をめぐる課題と諸問題	古川景一	労働法学研究会報	2485	10.9.15
労働法における差別禁止	モニカ・シュラハター 訳：緒方桂子	労働法律旬報	1725	10.8.上旬
* 蓼沼謙一著作集 別巻	蓼沼謙一	信山社出版	A5.400	09. 6
* 労働法全書 2011		労務行政研究所	A5.3518	10.10
* 労働総覧 平成23年版		労働法令	B6.3561	10.11
* 戦後労働法学の思い出	蓼沼謙一	労働開発研究会	A5.362	10. 6
* 全日空で学んだ働くすべての人のための労働法	大川朗子	カナリア書房	B6.95	10. 7
* 労働組合の変貌と労使関係法	道幸哲也	信山社	A5.313	10. 7
* 雇用終了の法理	小宮文人	信山社	A5.296	10. 9
79. 労働判例				
最新労災判例（6）	山口浩一郎	季刊ろうさい	6	10.夏
高年法9条の雇用確保措置と協定締結資格のない組合に対する団交応諾義務	所 浩代	季刊労働法	229	10.夏季
日本インシュアランスサービス事件	楠本敏之	季刊労働法	229	10.夏季
複数組合併存下における労組間対立状態での転勤命令の不当労働行為性	日野勝吾	季刊労働法	229	10.夏季
雇止め法理の根拠と効果	櫻庭涼子	季刊労働法	229	10.夏季
労働者の内部通報をめぐる法的諸問題	石田信平	季刊労働法	229	10.夏季
特別支援学校の廃止に関する条例の処分性および適法性	今川奈緒	賃金と社会保障	1521	10.9.上旬
派遣就労中止の指示と賃金請求	小畑史子	労働基準	62-8	10. 8
小野リース事件	最高裁判所第三小法廷	労働経済判例速報	61-22	10.8.20/30
特集 とよなか男女共同参画推進センター「すてっぷ」館長雇止め事件		労働法律旬報	1724	10.7.下旬
大阪高等裁判所で逆転勝訴（寺沢勝子）『すてっぷ』館長雇止め事件		意見書（浅倉むつ子）なぜ私は提訴したか（三井マリ子）		
系列会社から親会社への移籍にともなう従前賃金保障合意の有無	小俣勝治	労働法律旬報	1723	10.7.上旬
動機の競合と年齢差別の立証責任	沼田雅之	労働法律旬報	1723	10.7.上旬
在フランス外交使節団における組合代表委員の指名の可否	細川 良	労働法律旬報	1726	10.8.下旬
生徒指導が困難な状況および教員の既往歴とうつ病・自殺の公務起因性	山崎文夫	労働法律旬報	1726	10.8.下旬
働く者の市民的自由を求めて	船尾 徹	労働法律旬報	1726	10.8.下旬
80. 労働委員会				
* 労働委員会年報 平成21年 第64集		中央労働委員会事務局	A5.362	10.10

VI 世界労働

90. 総 記				
労働者の国際間移動に関する一考察	村田 慶	経済論究（九州大）	137	10. 7
特集 グローバル化時代の労働運動		世界の労働	60-7	10. 7
アセアン諸国の労働運動（香川孝三）「工会運動」から「労働運動」への新展開（石井知章）岐路に立つインド労働運動（木曾順子）ドイツにおける労働組合の挑戦（坪郷 實）フランス労働運動の現状（松村文人）イギリス労働組合運動と労使関係の変容（小笠原浩一）鏡の国のレーバー（篠田 徹）ブラジルの労働運動の現状（住田育法）				
特集 主要国の労働者代表制度		世界の労働	60-8	10. 8
労働者代表制度の類型と日本の現状・課題（竹内（奥野）寿）ドイツの労働者代表制度の現状（緒方桂子）イギリスの労働者代表制度の現状と課題（古川陽二）フランスの労働者代表制度とその現状（奥田香子）中国の従業員代表制度の概要とその現状（山下 昇）				

91. アジア					
* 起業するなら中国へ行こう!	柳田 洋	PHP研究所	B40.222	10. 7	
93. ヨーロッパ					
* 失業しても幸せでいられる国	都留民子	日本機関紙出版センター	B6.112	10.10	
* デンマークの社会的連帯とワークライフバランス	熊倉瑞恵	全国勤労者福祉・共済振興協会	B5.97	10.10	
98. 国際労働運動					
UNIの国際的ネットワークを活用しアジア太平洋地域の青年・女性活動のリードを	佐々木恵梨	あけぼの	27-10	10. 7/8	
ITUCの今後の課題と役割 (報告) (勝又麻美子)		世界の労働	60-7	10. 7	
99. ILO, 国際機関					
「HIV勧告」を採択, 「家事労働者 (一次討議)」は紛糾	村木太郎, 松井博志, 中嶋滋	司会: 新井力	世界の労働	60-8	10. 8

Ⅶ 歴 史

100. 総 記					
* 市民のオーラル・ヒストリー	酒井順子	かわさき市民アカデミー (発売: シーエーピー出版)	A5.100	08. 7	
* 歴史と社会の唯物論	今井伸英	本の泉社	A5.343	10.10	
* 近代日本の「他者」と向き合う	黒川みどり編著	部落解放・人権研究所 (発売: 解放出版社)	A5.423	10.11	
101. 生活・労働史 (日本)					
三池闘争と子どもたち (1) ~ (2) (完)	黒沢惟昭	科学的社会主義	148,149	10. 8,10. 9	
* 現場へようこそ		葛飾区郷土と天文の博物館	A4.112	10.11	
102. 生活・労働史 (外国・国際)					
1880~1910年代フランスにおける職業指導の展開と実践	京免徹雄	産業教育学研究	40-2	10. 7	
103. ジェンダー・フェミニズム・女性史 (日本)					
「原爆乙女」とジェンダー	高雄きくえ	女性史学	20	10	
女性史研究の20年を振り返って (インタビュー)					
(加納実紀代 聞き手: 長志珠絵 京楽真帆子 成田龍一)		女性史学	20	10	
特集 それぞれの時代を生きた女たち		女性史研究ほっかいどう	4	10. 8	
北海道の教育における女性教員 (林 恒子) 知里ナミの足跡を辿る (中村一枝) 日本とアメリカ二つの祖国を持つ植村襄治の生きた道 (高畑イク) 社会運動家を志した保健婦 棧敷よし子への“旅” (岸 伸子) 戦後初の女性市議会議員 (本田明子)					
* 山川菊栄の現代的意義		山川菊栄記念会	A5.92	10	
* <主婦>の誕生	木村涼子	吉川弘文館	A5.325	10.11	
* 上代タノ	島田法子, 中野邦, 杉森長子	ドメス出版	A5.326	10. 3	
* ウーマンリブがやってきた	佐藤文明	インパクト出版会	B6.300	10. 9	
* 養蚕を担った女たち		大森かほる	A5.54	10. 9	
105. 社会事業・慈善事業史					
* 社会福祉史・社会事業史研究のための史資料ガイドブック	社会事業史学会史資料問題委員会編	社会事業史学会	B5.167	10. 7	
108. 労働運動史 (日本)					
佐々木仁三郎「北海道炭鉱汽船株式会社職員組合労働運動史」(一) ~ (三), (五)	大場四千男	北海学園大学学園論集	139~142,144	09. 3 ~09.12,10. 6	
* 竹田誠全集 第3巻	竹田 誠	世界出版	A5.78	10.10	
* 三池の闘いと向坂教室		林 信男	A4.228	10.10	
* 鈴木文治のいる風景	芳賀清明	無明舎出版	B6.219	10.11	

109. 労働運動史 (外国・国際)				
*カール・マルクス	浜林正夫	学習の友社	B6.175	10. 8
110. 社会主義運動史 (日本)				
*幸徳秋水展		高知市立自由民権記念館	A4.18	10.10
*パンとペン	黒岩比佐子	講談社	B6.446	10.10
*高木顕明の事績に学ぶ学習資料集				
大阪地区高木顕明の事績に学ぶ学習資料集編集委員会		真宗大谷派宗務所	B5.169	10. 6
*総括	油井喜夫	七つ森書館	B6.199	10. 8
111. 社会主義運動史 (外国・国際)				
*革命とナショナリズム	石川禎浩	岩波書店	B40.267	10.10
112. 諸社会運動史				
*昭和四大公害裁判・富山イタイイタイ病闘争小史	江川節雄	本の泉社	A5.174	10.10
*全学連と全共闘	伴野準一	平凡社	B40.260	10.10
*東京教育大闘争の敗北	黒川敏夫, 夢諸野迷編著	三協社	A5.653	10.10
*従属の同盟	赤旗政治部「安保・外交」班	新日本出版社	A5.167	10.11
*ビジュアル部落史	大阪人権博物館編	解放出版社	A4.146	10.11
*創立60周年記念レセプション		日本平和委員会	A4.23	10. 4
*日本平和委員会の10年		日本平和委員会	A4.90	10. 4
*小野梓と自由民権	勝田政治	有志舎	B6.288	10. 6
*“九条おじさん”がゆく	蓑輪喜作	新日本出版社	B6.173	10. 8
*お前の1960年代を、死ぬ前にしゃべつとけ!	加納明弘, 加納建太	ポット出版	B6.253	10. 8
*部落差別をこえて	白井敏男	朝日新聞出版	B40.203	10. 9

高橋彦博 著

大阪社研と協調会

A5判上製 364頁 6,090円

戦間期日本の社会研究センター

大阪社研と協調会

A5判上製 388頁 5,460円

協調会の研究

法政大学大原社会問題研究所 編
梅田俊英・高橋彦博・横関至 著

A5判上製 全12巻 総4,760頁
A5判上製 全12巻 総6,080頁

都市・農村生活調査資料集成I・II

歴史的価値の高い精密な生活実態調査の記録

I A5判上製 全2巻 総2,662,500円
II A5判上製 全2巻 総2,662,500円

日本社会労働運動資料集成I・II

大原社研が保管する膨大な協調会基幹史料を公開

I 一九二〇～三〇年代 全114リール 揃2,730,000円
II 一九三〇～四〇年代 全62リール 揃1,575,000円

『産業福利』復刻版【全3回配本】

I 一九二七～三三年 A4判上製 総2,710頁 揃294,000円
II 一九三四～三八年 A4判上製 総2,814頁 揃294,000円
III 一九三九～四四年 A4判上製 総2,500頁 揃294,000円

『労働雑誌』人と人』復刻版【全2回配本】

I 菊判上製 全11巻 総5,882頁 揃294,000円
II 菊判上製 全11巻 総4,974頁 揃294,000円

【協調会史料】

法政大学大原社会問題研究所 監修
協調会研究会(梅田俊英・高橋彦博・横関至) 編

労働問題を「人」の問題として捉えた最初期の雑誌

啓蒙雑誌。教育の機会均等の必要を論じ、無産政党の動向を詳報。
わが国労働安全運動の源流と展開過程が明らかに

柏書房 〒113-0021 東京都文京区本駒込 1-13-14 TEL.03-3947-8251 FAX.03-3947-8255
http://www.kashiwashobo.co.jp <価格税込>